



1学期も今週を残すのみとなりました。梅雨明けと同時に連日の真夏日が続いていますが、お変わりなくお過ごしでしょうか。子供たちが元気に1学期終了を迎え、夏休みを過ごすことができるよう、帽子の着用や十分な水分補給を促しています。御家庭でもお声掛けいただければと思います。

さて、夏休みを前にいま一度御確認いただきたいことがあります。スマートフォンの使用についてです。夏休み中は、子供たちだけで過ごす時間が多くなると考えられますので、使用についてのルール等を明確にすることで、子供たちの安全を担保できればと考えています。

## スマホの使い方

最近、小中学校で SNS によるトラブル（特に LINE アプリ）の話を聞くことがあります。本校でも、少なからず同じような話が入っています。我が子にスマホを持たせるのであれば、利便性だけでなく、デメリットや危険性についても教えておかねばなりません。今後はもっと親子で、SNS の使い方を話し合ってもらいたいです。感じています。巻き込まれてからでは遅いのです。

ところで、「デジタルタトゥー」という言葉は御存知ですか。「デジタルタトゥー」とは、未来の自分に不利益を及ぼすインターネット上の刻印のことです。文字や画像、動画などが、検索エンジンを含むインターネット全般に公開され、将来の自分にとって不利益な情報が残り続けてしまうことになります。

情報をアップされたときは問題がなくても、あとあとになって問題になることに気付いていくこともあり、「消したい！！」と思って、大元の情報を1つ削除できたとしても、ウェブサイトやキャッシュなどに履歴が残っていて、完全に削除することは非常に困難です。

一度問題に上がれば、さまざまな思惑を持った第三者がそれを探し当てて、コピー＆拡散につながるため、「消すと増える」とも言われています。

いたずら動画が Instagram や TikTok、YouTube 等で拡散され、処罰を受けたニュースもあります。動画を UP した者の情報は瞬く間に拡散され、本名、住所、学校名も特定されます。様々な思惑を持った第三者には簡単なことのようにです。

また、ストーカー行為を目的に、相手が UP した動画や画像の GPS 情報から行動パターンを読み、待ち伏せされることもあります。自分の行動を安易にネット上に残さない方が賢明です。

SNS の影響はこれからも大きくなり続けていき、それに伴ってデジタルタトゥーの問題が拡大していくことは間違いありません。なぜなら世間の風潮や社会情勢の変化によって、『昔はよかったけど、今は NG』となっていることが多いのです。どの情報なら出して OK でどの情報は NG なのかをよく考えてプライベートでも発信していく必要があるでしょう。

さらに、近年、生成 AI をはじめとするテクノロジーが急速に発達し、生活にも深く入り込んでいます。非常に便利な道具である反面、注意すべき「弊害」もあるように感じています。

## そもそも「利用禁止」です

本校では「児童の LINE をはじめとする SNS の利用等は一律禁止」という決まりを設けています。

なぜ「一律禁止」にしているのかというと、小学生はまだ精神的に未成熟であり、「自分が書いた言葉が相手をどれだけ傷つけるか」を十分に想像できません。文字だけのコミュニケーションは簡単に誤解を生み、いじめや不登校、あるいは法的な問題へと急速に深刻化します。また、昨今では「児童による生成 AI（ChatGPT 等）の利用も一律禁止（文科省ガイドラインでも小学生の利用は慎重であるべきとされています）」としていますが、AI を相手にするような軽い感覚（何を言っても怒られない感覚）のまま、LINE で友達や担任へ暴言を吐くという、言葉の重みの麻痺も背景にあります。

ところで、保護者の皆様は、これらのアプリの公式ルールを御存知でしょうか。

●LINE：アプリの利用推奨年齢は「12 歳以上（中学生以上）」

●主要 SNS（Instagram、TikTok 等）：利用規約で「13 歳未満は利用禁止」

つまり、小学生がこれらを使ってトラブルを起こしている現状は、「サービスの公式ルールを破って使っている状態」なのです。

子供が使用しているスマートフォンやタブレットは、保護者の皆様が契約し、「お子様に貸し出しているもの」です。したがって、そこでのトラブルや、他者を傷つけた場合の責任は、第一に保護者の皆様にあります。本来、保護者が「ペアレンタルコントロール（機能制限）」や「フィルタリング」を正しく設定していれば、これらのアプリは小学生のスマホにはダウンロードできない仕様になっています。「周りが持っているか



ら」「子供にねだられたから」と、制限を解除して買い与えてはいないでしょうか。結果として子供を無法地帯に放り込み、トラブルの当事者にしてしまうリスクを高めていきます。

「うちの子に限って……」という油断が、気付かないうちに我が子を「被害者」にも、そして他人の心を深く傷つける「加害者」にもしてしまいます。学校の決まりである「児童間のLINE・SNS利用禁止」を今一度お子様と徹底してください。そして、保護者の責任として、お子様のスマホの利用状況（トーク内容の確認、適切な機能制限の設定）を今すぐ御確認いただきますよう、対応をお願いいたします。



### 子供たちを守るために

下の文章は、随分前に、全世界で話題になった、「ケータイ・スマートフォン等を使うための『18の約束』」です。アメリカ・マサチューセッツ州に住むお母さんが13歳の息子にiPhoneをプレゼントとしてあげたときに渡したもので、iPhoneの箱にはその使用契約書が入っていました。その内容には気付かされることが多くありますのでお伝えします。

以下の内容がお母さんの作った使用契約書です。

息子へ

※訳文のため、多少表現に差があります。

あなたは今日からiPhoneを持つことができます。やったね！あなたは責任感のある利口な13歳なので、このプレゼントはあなたにふさわしいと思います。しかし、このプレゼントを受け取ったからにはそれなりの約束を守ってもらいます。これら18個のことが守れないようならすぐにiPhoneを取り上げますよ。



- ①これは私のiPhoneです。私が買って、あなたに貸してあげています。
- ②パスワードは常に私に報告してください。
- ③これは電話です。鳴ったらマナーを守って必ず出てください。
- ④学校のある日は午後7:30に、週末は午後9:00に親にiPhoneを渡してください。
- ⑤学校に持って行ってはいけません。メールでやり取りする相手とは直接会話を楽しみなさい。会話は生きる上で大事なスキルです。
- ⑥もしトイレや床に落として破損、紛失した場合は、修理費用は自己負担です。
- ⑦嘘をついたり、人を馬鹿にしたりするためにこのテクノロジーを使わないこと。
- ⑧面と向かって言えないことをメールしてはいけません。
- ⑨友達の両親の前で言えないようなことをメールでしないこと。
- ⑩ポルノ禁止。情報は私の共有。知りたいことは私かパパに聞くこと。
- ⑪公共の場では電源を切るか、マナーモードにしないこと。
- ⑫他人のプライベートな写真を送ったり受け取ったりしてはいけません。一度広まってしまったら、解決するのはとっても難しいです。
- ⑬膨大な数の写真やビデオを撮らないでください。すべてを記録する必要はありません。自分自身の体験を大切にしてください。体験は永遠に残るものです。
- ⑭ときにはiPhoneを家に置いて行きなさい。携帯は生き物でもあなたの一部でもありません。これなしでも暮らしていける。器の大きい人間になりなさい。
- ⑮いい音楽をダウンロードして聴きなさい。視野を広げなさい。
- ⑯ワードゲームやパズル、知能ゲームで時々遊びなさい。
- ⑰上を向いて歩きなさい。周囲の世界に目を向けてなさい。会話をしなさい。グーグルに頼らないで探し求めなさい。
- ⑱問題があるようなら、iPhoneを没収します。もう一度話し合い、はじめからやり直しましょう。あなたと私は常に学んでいるチームメイトです。一緒に答えを出して行きましょう。



これらの約束を守ってくれることを願っています。これらはiPhoneだけでなく、人生にも通じることです。あなたは早く変わり続ける世界のなかで成長していきます。あなたを愛しています。

母より

スマホやゲームへの依存、生活リズムの乱れ、LINE等による友達の誹謗中傷や仲間外し等、不登校、引きこもり、デジタルタトゥー、出会い系による被害、・・・年々、問題は深刻化しているような気がします。

すでにスマホを与えられている御家庭もこれからの御家庭も、家庭でのルール作りの参考になればと思います。